

二、開設期間は前期、後期の二期とする。
 4 開設講座 教員の種類に應じ、教育職員免許法の要求する科目につき開設する。

5 受講者 小學校、中學校、高等學校、盲學校、ろう學校及び幼稚園の教員並びにそれらの學校の校長(園長)とする。

6 受講者の選定 各大學は、當該都道府縣教育委員會と協議して受講者を選定する。

幼稚園小學校研究集會打合せ

四月二十六、二十七日の兩日東京學藝大學竹早分校において、文部省と各都道府縣との幼稚園小學校研究集會の事務打合せ會が行われた。研究集會を幼稚園が行うことは最初のことであつてその成果の良否は各方面から注目されてゐる。左にその打合せの概要を述べると、

1 會場縣 會場 該當都道府縣(下段)

- | | | |
|-------|---------------|--------------------------|
| 千葉會場 | 六月二日——一七日 | 東京、茨城、山梨、神奈川、千葉、埼玉、栃木、群馬 |
| 北海道會場 | 九月一日——一六日 | 北海道 |
| 秋田會場 | 九月二五日——三〇日 | 青森、秋田、山形、宮城、岩手、福島、新潟 |
| 和歌山會場 | 一〇月九日——一四日 | 大阪、京都、兵庫、和歌山、奈良、三重、滋賀 |
| 福井會場 | 一〇月一六日——二一日 | 静岡、長野、岐阜、愛知、富山、石川、福井 |
| 鳥取會場 | 一〇月三〇日——一一月四日 | 山口、廣島、岡山、鳥根、鳥取 |
| 鹿兒島會場 | 一一月一三日——一八日 | 福岡、佐賀、長崎、大分、熊本、宮崎、鹿兒島 |
| 高知會場 | 一一月一〇日——六日 | 愛媛、香川、徳島、高知 |
- 2 會 員 一會場四〇〇名であるが幼稚園關係者はそのうち何名かは各都道府縣で決定する。

3 日程案

1 日	8.30		
	9.00		
開 會	9.30		
講 義			
(CIE)	10.30		
日 程 說 明	11.00		
	11.15		
授業説明と評價の仕方について(二クラス別)	11.45		
	12.15		
	13.00	企 業 運 營 委 員 會	
班 別 研 究 (十一班)	14.00		
	15.00		
	16.00		
	17.00		

6。	5 日	4。	3 日	2 日
講 義	講 義	講 義	講 義	講 義
授業説明と評價 の仕方について	デモンストレーション （三クラス別）	中間研究報告會 （質疑應答） 10.15 （討 議 特定主題に よるもの）	デモンストレーション （三クラス別）	デモンストレー ション （三クラス別）
デモンストレー ション （三クラス別）	授業研究会 （三クラス別）	授業の説明と評 價の仕方につ いて（三クラス別）	授業研究会 （三クラス別）	授業研究会 11.15 （三クラス別）
授業研究会 （三クラス別）	授業研究会 （三クラス別）	授業研究会 （三クラス別）	授業研究会 （三クラス別）	授業説明と評價 の仕方について （三クラス別）

4 幼稚園班研究主題

- 1 幼稚園教育はなぜ必要であるか——幼稚園の目的はなにか
幼稚園と小學校との相互に協力する必要があるわけ・幼稚
園の地位・どうしたら一般社會の人に幼稚園の必要性を認
識させることができるか
- 2 幼稚園の幼児の特徴はなにか——幼稚園教育に關係ある幼
兒の個人としての要求はなにか・幼稚園教育に關係ある幼
兒のグループの一員としての要求はなにか
- 3 幼稚園のカリキュラムについて——幼兒の望ましい経験の
計畫はどうしたらよいか・幼兒の環境について・日案のた
てかたはどうしたらよいか
- 4 ガイダンスの問題について——幼兒を理解する方法について

リ ク リ エ ー シ ョ ン 食 堂

班別研究 (十一班)	班別研究 (十一班)	映 畫 新らしい教 育(CIE) 14.00	班別研究 (十一班)
研究報告會 (質疑應答)	單位授與のための 成績審査	地域見學	會 閉

- 5 てどんな知識が必要か・指導についての教師の態度と人格
指導の方法・評價と發達の記録
幼稚園の經營管理——よき經營管理上どんな準備をすべき
か・必要な職員組織・幼稚園經營のための財源・幼稚園と
小學校とを連繫させる實際的處置
- 6 幼稚園と家庭との協力の方法——幼稚園と家庭とが相互に
協力する必要があるわけ・幼稚園と家庭と協力する方法

5 研究主題についての注意事項

- 1 研究主題選定の方法
(1) 各會場は別紙研究主題のうち、二つを研究するものと
する。そのうち一つは次の主題により、他の一つはそ
の他の主題中から選ぶ。なおその選定については、關

保都道府縣と協議することが望ましい。

会場	主題名
千葉	6. 幼稚園の法 家庭方教 協力はな 育必要か 必幼要園 幼経管
北海道	1. 幼稚園の理 園ユイ キつ園な 幼稚園な 育必要イ 必ガスの ガスイの 経営園管
秋田	5. 幼稚園の特 園ユイ キつ園な 幼稚園な 育必要イ 必ガスの ガスイの 経営園管
和歌山	3. カム
福井	1. 幼稚園の 育必要イ 必ガスの ガスイの 経営園管
鳥取	4. 幼稚園の 育必要イ 必ガスの ガスイの 経営園管
鹿児島	5. 幼稚園の 育必要イ 必ガスの ガスイの 経営園管
高知	2. 幼稚園の 育必要イ 必ガスの ガスイの 経営園管

(2) 会場は、研究主題が選ばれたら速やかに関係都道府縣及び本省に連絡すること。

2 主題に對する内容の範圍について

研究主題についての内容の項目はその大體の方向を示したものであるから、それらを中心として会場は関係都道府縣と事前に充分研究の上解決すべき主題の内容の範圍、項目を決走すること。

3 その他

- (1) 各会場は、その成果を他の会場へ連絡すること。
- (2) 全研究主題に關係ある研究資料があるときは、持参すること。
- (3) 会場附近に幼稚園があるときは、期間中でできる限り實際指導を見學の上研究協議する機會を作ることが望ましい。
- 4 持参すべき参考書及び資料
 - (1) 保育要領(文部省)
 - (2) 教育心理(文部省)
 - (3) 學習指導要領(一般篇)(文部省)
 - (4) 音楽とリズムの本案(文部省)
 - (5) 研究主題に必要な資料

記 録

第三回關東地區保育協議會

標題の協議會が茨城縣那珂湊ミナトホテルにおいて四月二十八日—三十日の三日間に亘り開催された。

四月二十八日 午後八時より懇談會

四月二十九日 午前九時開會、大會委員長押野氏の挨拶

についで、文部・厚生兩大臣、全保連會長、茨城縣教育長よりの祝辭あり(いづれも代讀)をはつて二十年以上勤續者の表彰が行はれた。(賞狀並に花瓶贈呈フレール館寄贈) ついでキョククリヒ女史の講演あり、女史一流の情熱あふるる雄辯を以て、日本保育界の現状並に將來に對する示唆多き所論を展開されたが、就中、幼稚園、保育所の二元併立に關する所論は參會者に異常の關心をひきおこした様である。

以上を以て午前のプログラムをおはり、午後一時より三時半まで

一 協 議

二 研究發表

三 會計報告

がなされ、盛會裡に終了した。來會者は約二〇〇名であつたが、二十九日の大會終了後並に三十日は、附近名勝、大洗借樂園、西山莊等の見學が行はれた。